

トヨタ純正

ターンチルトシート 取扱書

このたびは、トヨタ純正ターンチルトシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

なお、本品を他のお客様にお譲りになる時は必ず本書も併せてお渡しください。

この取扱書では、安全にお使いいただくために、特にお守りいただきたいことを以下のマークで表示しています。

 **警告** 警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。

 **注意** 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、火災・損傷などのおそれがあります。

 **アドバイス** より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

目次

1. ご使用にあたって	2
2. 各部機能	3
3. 使用方法	4
4. ターンチルトシートが車外に出た状態で回転できない場合	11
5. ターンチルトシート保安基準適合検討書	12

1. ご使用にあたって

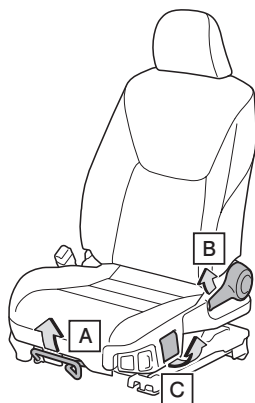
⚠ 警告

- シートを調整・回転するとき
 - ・同乗者がシートにあたってケガをしないように注意してください。
 - ・シートの下や動いている部分に手や足を近付けないでください。手や足などを挟み、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。
- シートの調整・回転について
 - ・背もたれは必要以上に倒さないでください。必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・シート調整・回転後はシートがきちんと固定されていることを確認してください。
- 操作するときは
 - ・走行中やドアが閉じているときは、ターンチルトシートを操作しないでください。
 - ・不整地や傾斜地で操作しないでください。
 - ・平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPにしてください。
- ターンチルトシートをもとの位置にもどしたあとは
 - ・ターンチルトシートを前後左右にゆすり、シートが確実に格納位置で固定されているか確認してください。
- チャイルドシートの装着禁止
 - ・ターンチルトシートにチャイルドシートを装着しないでください。装置の破損や、お子様が重大な傷害を受けるか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートヒーター機能付きの車両について
 - ・シートヒーター機能付きシートをターンチルトシートに交換した場合、シートヒーター機能を使用することはできません。
- サイドエアバッグについて
 - ・ターンチルトシートのサイドエアバッグはサイドエアバッグ機能付きの車両のみ使用することができます。
- シートを調整・回転するとき
 - ・ヘッドレストが天井にあたらないように注意してください。ヘッドレストや天井が損傷するおそれがあります。
- 損傷を防ぐために
 - ・回転レバーと前後スライド位置調整レバーを同時に操作しないでください。正しい位置にシートが移動しなくなるおそれがあります。
 - ・回転レバーがポップアップする位置以外では、回転レバーを操作しないでください。
 - ・ターンチルトシートを確実に格納してからドアを閉じてください。シートが格納していない状態では、ドアを閉じた際にドアとシートがぶつかるおそれがあります。
- ターンチルトシートが回転しないとき
 - ・車内から回転できない場合、すみやかにトヨタ販売店または専門業者で点検を受けてください。
 - ・車外に出た状態で回転しないときは、助手席ドアを閉めることができません。その場合は、トヨタ販売店または専門業者に「ターンチルトシートが車外に出た状態で回転できない場合」の操作をご依頼ください。
- 取りはずした車両助手席シートについて
 - ・絶対に分解しないでください。
 - ・強い衝撃を与えないでください。
 - ・エアバッグを廃却する場合は、トヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。
 - ・高熱や火気に直接さらさないでください。
 - ・高温、多湿を避けた場所で保管ください。

2. 各部機能



A 前後スライド位置調整レバー

B リクライニング調整

C 回転レバー

👉アドバイス

■シートの前後位置調整について

- ・前後位置調整中に、シートが中間位置で止まりますが故障ではありません。前後スライド位置調整レバーを一度下げて、再度前後位置を調整してください。

■回転レバーについて

- ・回転レバーがポップアップする位置付近で回転レバーが少しポップアップすることがありますが、故障ではありません。回転レバーが完全にポップアップする位置で、回転レバーを操作してください。

3. 使用方法

<準備>

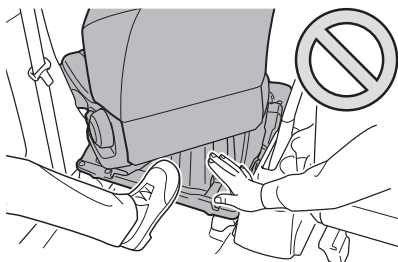
次のことを確認してください。

- ・グローブボックスのフタが閉まっている
- ・サンバイザーが格納されている
- ・背もたれは前方・後方に必要以上に倒れていない
- ・ヘッドレストの高さが一番低い位置になっている
- ・シートベルトをはずす

⚠ 警告

■ターンチルトシートを操作する前に

- ・ドア開口部に頭部をあてたりしないように、乗り降りする方の頭上の安全を確認してください。
- ・ボデーと腕があたらないように、ターンチルトシートを勢いよく操作しないでください。
- ・ターンチルトシートを操作するときシート可動部などで手や足などを挟むおそれがあります。

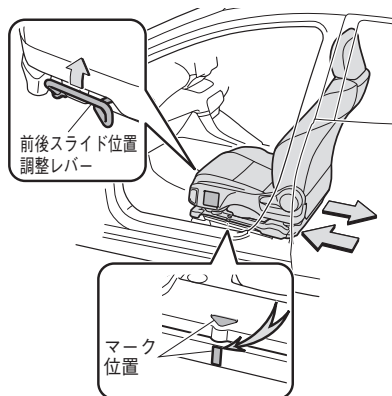


- ・ターンチルトシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合、足や頭がボデーにあたり、座った状態でのシートの回転が困難になりますのでご注意ください。

⚠ 注意

- ・ターンチルトシート可動部に手や衣服（スカート・マフラーなど）を巻き込まないようにご注意ください。

<乗車>



1. シートがロック（マーク位置）するまで、前後スライド位置調整レバーを引ながらシートを前後に動かす。

🔊アドバイス

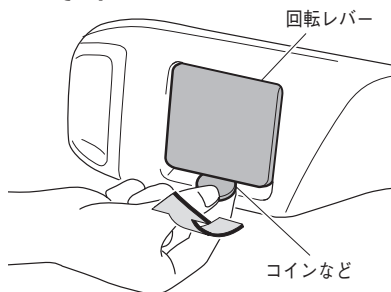
回転レバーがポップアップします。



2. ポップアップした回転レバーを引ながらシートを外側へ回転させる。

🔊アドバイス

- ターンチルトシートの回転操作について
 - ・ ターンチルトシートとレールのマーク位置が合わないと、シートを回転させることはできません。
 - ・ 回転レバーがポップアップする位置以外では、回転レバーを操作しないでください。万一、シートが回転できる位置で回転レバーが閉じてしまった場合は、コインなどを使用して回転レバーを引き出してください。





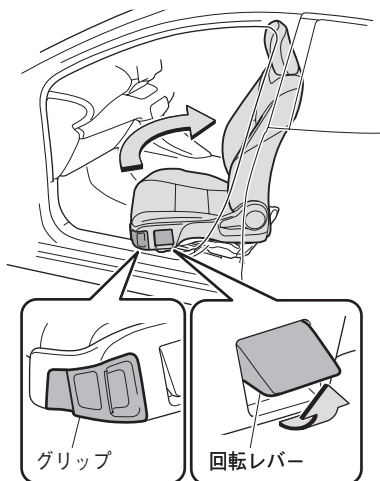
3. シートに座り、回転レバーを引きながらシートを内側へ回転させる。
4. シートが回転し始めたら回転レバーから手を放し、“カチッ”と音がするまでシートを回転させる。

👉アドバイス

中間ロック位置でロックされます。
介助の方は、必要に応じてグリップを使用すると回転しやすくなります。



5. 中間ロック位置で足を車内に入れる。



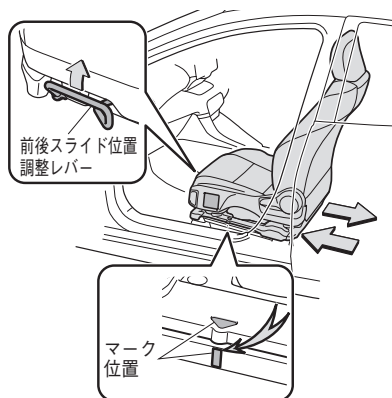
6. 回転レバーを引ながらシートを内側へ回転させる。
7. シートが回転し始めたら回転レバーから手を放し、“カチッ”と音がするまでシートを回転させる。

👉アドバイス

介助の方は、必要に応じてグリップを使用すると回転しやすくなります。

8. シートを前後左右にゆすり、確実にロックしていることを確認する。

<降車>



1. シートがロック（マーク位置）するまで、前後スライド位置調整レバーを引きながらシートを前後に動かす。

👉アドバイス

回転レバーがポップアップします。

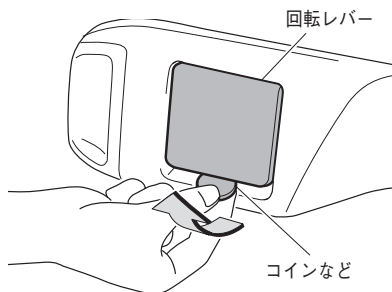


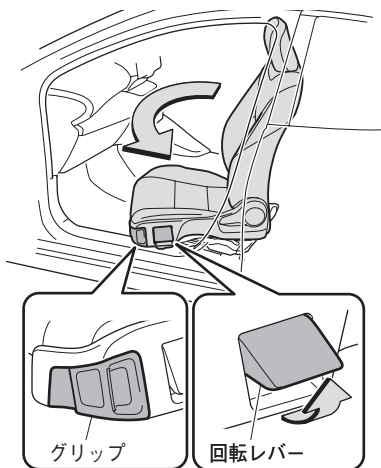
2. ポップアップした回転レバーを引きながらシートを外側へ回転させる。

👉アドバイス

■ターンチルトシートの回転操作について

- ・ターンチルトシートとレールのマーク位置が合わないと、シートを回転させることはできません。
- ・回転レバーを引いた状態では、ターンチルトシートがロックされません。シートが動き始めたら、回転レバーから手を放してください。
- ・回転レバーがポップアップする位置以外では、回転レバーを操作しないでください。万一、シートが回転できる位置で回転レバーが閉じてしまった場合は、コインなどを使用して回転レバーを引き出してください。

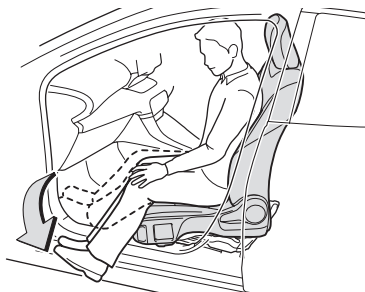




3. シートが回転し始めたら回転レバーから手を放し、“カチッ”と音がするまでシートを回転させる。

アドバイス

中間ロック位置でロックされます。
介助の方は、必要に応じてグリップを使用すると回転しやすくなります。



4. 中間ロック位置で足を車外に出す。



5. 回転レバーを引きながらシートを外側へ回転させる。

6. シートが回転し始めたら回転レバーから手を放し、“カチッ”と音がするまでシートを回転させ、降りる。

アドバイス

介助の方は、必要に応じてグリップを使用すると回転しやすくなります。



7. 回転レバーを引きながらシートを格納位置まで回転させる。

👉 アドバイス

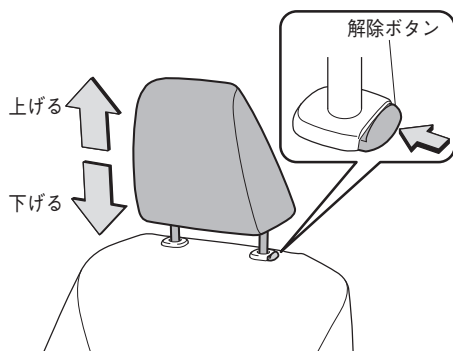
シートが格納されると“カチッ”と音がします。

8. シートを前後左右にゆすり、確実にロックしていることを確認する。

<ヘッドレスト調整>

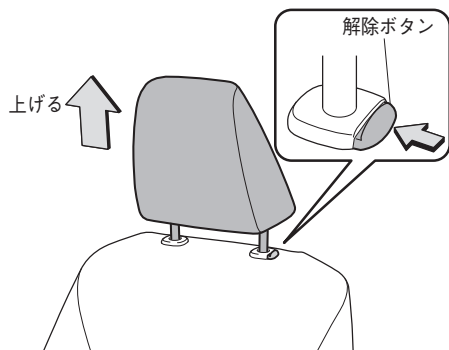
⚠ 警告

- ・ヘッドレストは、ターンチルトシート専用のものを使用する。
- ・ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する。
- ・ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する。
- ・ヘッドレストをはずしたまま走行しない。



1. 下げるときは、解除ボタンを押しながら操作する。

<ヘッドレスト取りはずし>

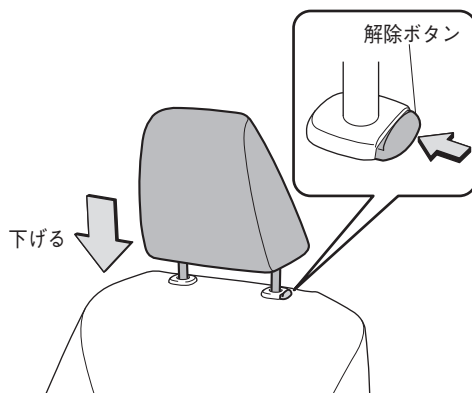


1. 取りはずすときは、解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げる。

👉 アドバイス

ヘッドレストが天井にあたって取りはずしにくいときは、背もたれの角度を調整してください。

<ヘッドレスト取り付け>



1. 取り付けるときは、ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げる。

2. 解除ボタンを押しながら、ヘッドレストを一番低い位置まで下げる。

⚠ 注意

ヘッドレストは一番低い位置にしてください。

4. ターンチルトシートが車外に出た状態で回転できない場合

万一、ターンチルトシートが回転できなくなったときは、助手席ドアを閉めることができません。その場合は、トヨタ販売店または専門業者に操作をご依頼ください。

<使用工具>

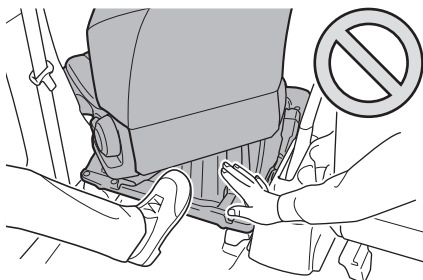
ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使用してください。

<準備>

次のことを確認してください。

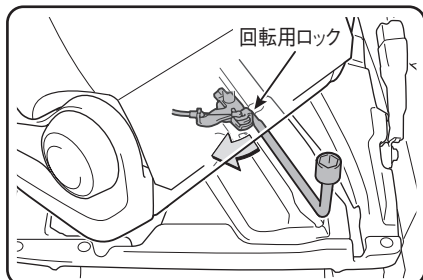
- ・ドアが全開になっている
- ・ターンチルトシート・リヤシートに乗員がいない
- ・グローブボックスのフタが閉まっている
- ・サンバイザーが格納されている
- ・ターンチルトシートの下および周辺に荷物などが置かれていない

⚠ 警告



- ・修理が完了するまではターンチルトシートに座らないでください。
- ・ターンチルトシート格納スペースに手や足を入れないでください。シート可動部などで手や足などを挟むおそれがあります。

<ターンチルトシートを回転できるようにする操作方法>



1. シートを支えながらホイールナットレンチや金属の固い棒などを使用して助手席ターンチルトシート下の回転用ロックを解除する。

👉 アドバイス

シートが回転し始めたらホイールナットレンチや金属の固い棒などを引き抜きます。

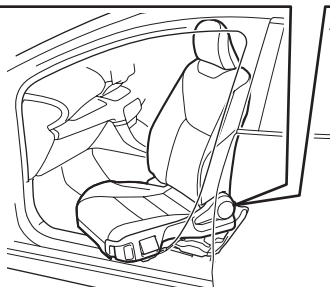
2. シートを支えながら中間ロック位置までシートを回転させる。

3. 再度、シートを支えながらホイールナットレンチや金属の固い棒などを使用して助手席ターンチルトシート下の回転用ロックを解除する。

👉 アドバイス

シートが回転し始めたらホイールナットレンチや金属の固い棒などを引き抜きます。

4. シートを支えながらシートを回転させる。



5. ターンチルトシート保安基準適合検討書

ターンチルトシート 保安基準適合検討書

【対象車種・モデル年月・基本型式・種類・品番】

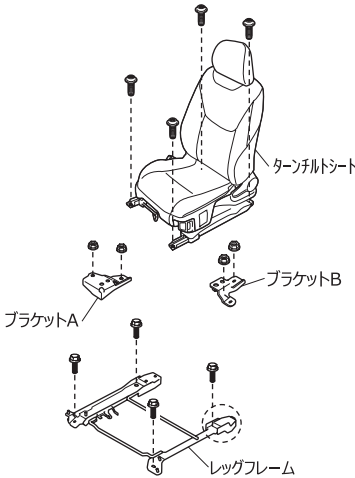
対象車種	モデル年月	基本型式	種類	品番
アクア	2011年12月～	NHP10 NHP10H	ターンチルトシート レッグフレーム ブラケットA ブラケットB	71200-D1Y31 C7120-D1C80 72432-D1010 72431-D1040

【適合している保安基準等】

基準条項	項目	検討結果
保安基準 第22条	座席	適合
保安基準 第22条の3	座席ベルト	適合
保安基準 第22条の4	頭部後傾抑止装置	適合
保安基準 第20条	内装材料の難燃性	適合

取付構造

脚ブラケットAをフロアに締結後、脚ブラケットA前側に脚ブラケットBおよび脚ブラケットCを締結
その後、ターンチルトシートを脚ブラケットに締結



<製品識別方法>

・スライドレール左側の識別ラベルが、本書15ページに貼られているQRコードラベルと同一であることを確認ください。

・脚ブラケットA左側面（ポンチ絵破線○部）の識別ラベルが下記と同一であることを確認ください。

アクア
C7120-D1C80
72431-D1040
72432-D1010

ターンチルトシート 保安基準適合検討書

【対象車種・モデル年月・基本型式・種類・品番】

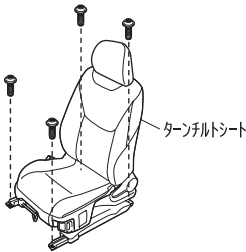
対象車種	モデル年月	基本型式	種類	品番
プリウス	2015年12月～	ZVW50 ZVW51 ZVW55	ターンチルトシート レッグフレーム	71200-D1Y21 C7120-D1C60
プリウスPHV	2017年2月～	ZVW52		

【適合している保安基準等】

基準条項	項目	検討結果
保安基準 第22条	座席	適合
保安基準 第22条の3	座席ベルト	適合
保安基準 第22条の4	頭部後傾抑止装置	適合
保安基準 第20条	内装材料の難燃性	適合

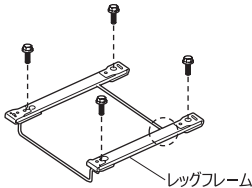
取付構造

脚ブラケットをフロアに締結後、ターンチルトシートを脚ブラケットに締結



<製品識別方法>

・スライドレール左側の識別ラベルが、本書15ページに貼られているQRコードラベルと同一であることを確認ください。



・脚ブラケット上面（ポンチ絵破線○部）の識別ラベルが下記と同一であることを確認ください。

プリウス／PHV C7120-D1C60

ターンチルトシート 保安基準適合検討書

【対象車種・モデル年月・基本型式・種類・品番】

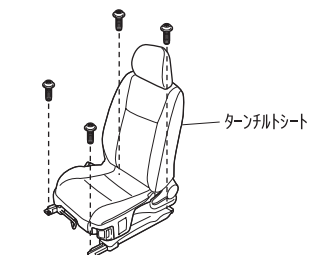
対象車種	モデル年月	基本型式	種類	品番
シエンタ	2015年7月～	NCP175G NSP170G NSP172G	ターンチルトシート レッグフレーム	71200-D1Y40 C7120-D1C90
シエンタハイブリッド		NHP170G		

【適合している保安基準等】

基準条項	項目	検討結果
保安基準 第22条	座席	適合
保安基準 第22条の3	座席ベルト	適合
保安基準 第22条の4	頭部後傾抑止装置	適合
保安基準 第20条	内装材料の難燃性	適合

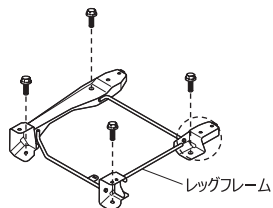
取付構造

脚ブラケットをフロアに締結後、ターンチルトシートを脚ブラケットに締結



<製品識別方法>

・スライドレール左側の識別ラベルが、本書15ページに貼られているQRコードラベルと同一であることを確認ください。



・脚ブラケット左側面（ボンチ絵破線○部）の識別ラベルが下記と同一であることを確認ください。

シエンタ
C7120-D1C90

< ターンチルトシート保安基準適合検討書 >

QRコードラベル貼付け位置

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通フリーコール



0800-700-7700

受付時間 9：00～18：00（年中無休）

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番地1号